

評価表（高等学校 様式例）

学校教育目標		重点目標（中・長期的目標）	
平和的な国家・社会の形成者として、真理と正義を愛し、個性豊かな自主的精神に満ちた資質を養う。 校是として不変のものも多く具体化しにくい。中・長期的な重点目標を立てることが重要。 評価表は総括表と対象ごとの評価表に分けるなど、いろいろな工夫が考えられる。		地域からの信頼を高め、地域を担う人材を育成する。	
		今年度の重点目標	
		1 生徒が希望する進路の実現につながる学力の定着	2 目指せ 中途退学者「0」
		3 地域に活動をアピール	

領域	対象	評価項目	評価の観点
教育課程	教育	1 個に応じた選択科目の設定	・選択した講座に75%以上の生徒が満足したか。
		2	
	活動	1 授業時数の確保	・年間〇〇時間の ・授業交換を行い
		1 総合的な学習の時間を通じて課題を設定し追究する力を育成	・生徒自らが課題を見つけ追究することができたか。 ・全職員が協力して総合的な学習の時間を行ったか。
		1 授業方法の改善	・生徒に学習意欲を喚起することができたか。 ・生徒の実態に応じた授業内容を工夫できたか。
			2 始業15分前の朝読書の実施
学習指導	2		
	共		
	2 中退者の事例研修	・本校中退者の問題点について共通理解ができたか。	
学校運営	地域との連携	3 授業公開	・地域住民が△△名以上参加したか。 ・授業内容や授業方法を理解してもらえたか。
		3 地域への広報活動	・学校祭に□□名以上の一般来客者がいたか。 ・学校の実態を地域に知らせることができたか。
	研修	2 中退者の事例研修	・本校中退者の問題点について共通理解ができたか。

これを決めるために、十分話し合いが必要がある。

校是として不変のものも多く具体化しにくい。中・長期的な重点目標を立てることが重要。

評価表は総括表と対象ごとの評価表に分けるなど、いろいろな工夫が考えられる。

重点目標を評価対象ごとに具体化する。

ここに中間評価の結果を記入して最終評価と比較する事も可能である。

およそ校務分掌ごとに、重点目標を具体化するための評価項目と評価の観点を設定する。数値化できるものは数値化する。

「共育」クローバープランなど県下共通の評価項目を重点目標とは別に設定したもの

生徒の希望する...し△%上昇した。あるが、全員就職の成果が出てき

中途退学者率...成果が認められ...ち着いた雰囲気...が課題である。

満足度は...講座の内容...った。選択

出席率は...施すること...係で実施回

町の広報...もしたが、一層の充実

～あくまでも例であり、参考として示したものの。各校で工夫してつくる。～

1の評価項目のAの人数の合計を記入する。

総合評価				
成果と課題	A	B	C	改善策・向上策
減少、生徒の進路希望に対する進学実績向上、就職内定率の維持等...成果が認められる。 の向上を図る授業改善と基本的な生活習慣の確立に向けた指導体制...構築する必要がある。	281 人	110 人	15 人	進路意識を高めるために、1年次から計画的に職場体験、体験入学等を実施する。就職については、地域と連携して、学校独自でも職場開拓を行いながら、生徒の納得できる職場への就職を目指す。
は□□%,昨年度に比較し、△%減となり、 。朝読書の実施などにより、学校生活に落 が出てきてる。入学当初の学習への動機付け	245	125	30	個人面談を充実させ、生徒の実態把握に努めるとともに、家庭の悩みを受け止めることのできる相談体制の構築、たとえば、電話相談など保護者が気軽に相談できるシステムを検討する。入学時の中学校との連携を強化する。
	135	231	34	どの程度達成されたかが明確になるものとする。 A：十分達成されたと評価した人数 B：ほぼ達成されたと評価した人数 C：不十分であったと評価した人数
成果と課題	A	B	C	改善策・向上策
70%。目標を下回った。アンケートからは、 を十分に理解しないまま、選択...が多か に当たって、説明を十分する必要	15	17	11	(1) 講座選択にあたり、講座内容を説明するために、授業計画だけでなく、目標、授業方法、評価の観点等も示したシラバスを作成する。 (2) 満足度80%を目指す。
成果と課題については、結果について記述するだけでなく、結果にいたる過程についても記述する。また、原因を考察することによって、つぎの「改善策・向上策」につなげていく。				
授業評価を総括し、来年度の課題を明確化				
△%に上昇し、非常に落ち着いた雰囲気です ができた。SHR（ショートホームルーム）との関 数は予定の□%にとどまった。	20	12	10	(1) SHR（ショートホームルーム）と切り離して1時限と2時限の間に設定し、本年度の目標実施回数を確保する。 (2) 出席率〇%以上を目指す。
参加者の授業アンケートを集約して評価				
に毎回学校の近況を掲載し、学校祭の案内 来客者は△△名にとどまった。展示内容の が求められる。	6	18	18	(1) 校内だけでなく、商店街の施設を活用した展示、催し物を企画する。 (2) 地域住民参加の企画を検討する。